

つくば中心部における違反広告物の分布に関する考察

蘇 磊 (地球科学専攻)

1. 研究背景と目的

街を歩くと、貼り紙や貼り札が電柱や街路柱に貼られていたり、街路樹に立て看板が置かれている。これらは、情報を提供してくれる反面、設置場所や方法などが守られず、街の美観を損ねる大きな原因になっている。本研究では、つくば市中心部における違反広告物を考察し、違反広告物の空間的分布と周辺環境を分析することを目的とする。

2. 研究対象と対象地域

屋外広告物とは、常時又一定期間継続して、屋外で公衆に表示される看板・立看板・はり紙・はり札などである。屋外広告物は正しい広告物に限らず、違反広告物も含まれる。本研究では違反広告物を研究対象とし、対象地域はつくば市市街地を調査する。

3. 研究手法とデータ：

現地調査ではGPSを用いて、違反広告物をウェイポイントで記録する。また違反広告物の属性も記録する。取得したデー

タはARCGISソフトウェアに取り入れた。また、Bufferを援用し、分布と種類から考察した。

4. 結果・考察

対象地域内全域で違反広告物がみられた。つくば市市街地で新しい違反広告物はあまりないが、昔貼られたことがある電柱と信号があることに気づいた。貼りつけられた痕跡が残っているからである。電柱と信号に貼られた貼り紙の色が全部褪めたことを発見した。つくば市市街地における違反広告物の特徴は、はり紙とはり札が多いことである。違反広告物は融資のはり紙がたくさんあることに気づいた。それに対して、立看板は少なかった。図3は500~1000m間に違反広告物が一番多いことを示している。つくば市土浦大曾根線の周辺、違反広告物を外す工事がきちんとして行われていないことに気づきました。

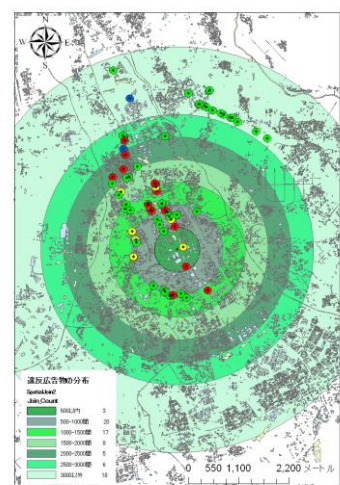
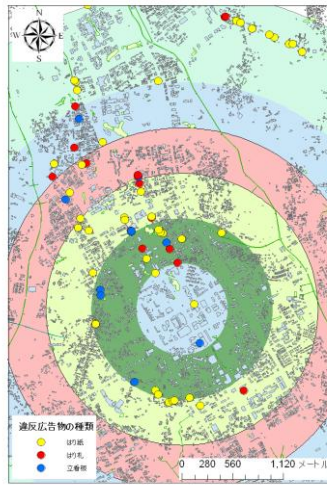
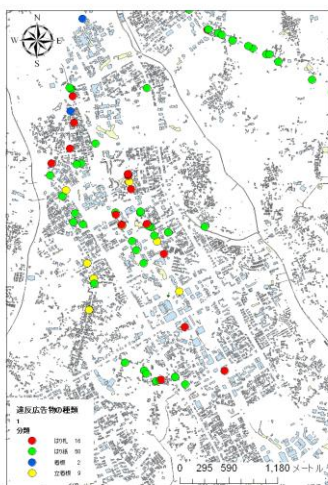


図1 つくば市違反広告物の種類 図2 つくば市違反広告物の種類および場所 図3 つくば市違反広告物の分布